

避難された皆さんの

人と人のつながりがとっても重要！
そのつながりの場を提供していく支援をします！



生活安定にむけた取り組みについて

福島県では、避難された皆さんが安心して生活を送ることができるよう、復興を支える各種人材を配置し、生活再建などに取り組んでいます。今回はそれらの事業についてご紹介します。

復興公営住宅のコミュニティ交流員について

福島県では、復興公営住宅入居者や周辺の避難者、受入自治体住民とのコミュニティづくりをサポートする「コミュニティ交流員」を配置しています。これにより、長期避難を余儀なくされている方々のコミュニティの維持・形成を図っています。

復興公営住宅には、複数の自治体からの避難者が入居する団地も多く、入居者は新たな住環境での生活を迎えることになります。これまでの絆を維持しながら、地域で孤立することなく安心して暮らしていくために、入居者同士や地域住民との交流・融和など、新たなコミュニティ形成に向けた取り組みが求められています。



交流会の様子



手芸サロンの様子

このため、入居者と地域との架け橋を担うコミュニティ交流員を配置し、交流の場の創出や交流活動のサポートを通じて、住民自ら主体的に交流が継続できる環境を構築し、良好なコミュニティの形成を目指して活動しています。

活動内容

- コミュニティスペースを活用した交流活動の支援及び実施
- 交流イベントの企画・開催
- 自治組織の活動サポート
- 地域住民との交流の場の創出
- コミュニティ情報の発信
- 交流促進に向けた訪問活動

これらの活動を通じて、
入居者の方々の交流の拡大を
図っていきます。

平成26年10月から活動を開始し、これまでに21人のコミュニティ交流員が配置されています。交流活動の詳細やイベントの実施状況については、右記問い合わせ先までご連絡ください。

☎ 福島県庁 生活拠点課
☎024-521-8617

故郷とあなたをつなぐ情報紙



新聞

ふくしまの

vol. 34

2015年8月10日

発行：福島県庁 避難者支援課 ☎024-523-4157

※この広報紙は「クウェート救援金」を財源の一部として発行しています。

福島県が発行する「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内に居住している皆さま、福島県内外に避難されている皆さま、そして被災者・避難者支援に携わる多くの皆さまへ、避難者支援の状況や福島県の復興への動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。

ふくしまの再生に向けて

復興に向けて頑張る
ふるさと
元気人 No.03

特定非営利活動法人
3.11被災者を支援する
いわき連絡協議会(みんな)の
コミュニティ交流員
(県中地区担当:スーパーバイザー)
はしもと おさむ

橋本 修さん(須賀川市)

須賀川市出身。前職を退社後、地域に貢献しようとコミュニティ交流員に応募。昨年11月から郡山市内の復興公営住宅で入居者のコミュニティ形成を支援中。

地域のコミュニティや横のつながりは大切です。入居者の皆さんが安心して暮らせるよう、お手伝いします。

周りの人々とのつながり、コミュニティの形成

活動を始めた時に、まずは入居者同士の接点をつくらうと思い、団地ごとに1ヶ月の頻度で交流会を開催してきました。これまでに、クリスマス会や新年会など季節の行事を催し、皆さんが入居してから顔合わせする機会や懇談できる場を企画してきました。また、住宅の集会所に交流員を常駐させて気軽に集まり話しやすい雰囲気をつくったり、個別訪問により入居者の皆さんとのコミュニケーションを積極的に図ったりしています。このような活動を継続していくことが信頼関係を築き、現在ではお互いに声をかける機会が多くなりました。

入居者の皆さんは、仮設住宅等から復興公営住宅に移れるため、新たな環境におけるコミュニティづくりが必要となります。そのため、周囲から孤立することがないように、入居者同士が集まる機会を増やし、皆さんと団地の運営について考えながら、お互いが顔見知りになれる関係を築いていきたいと思っています。

これからは、地域住民との交流を深めるとともに、より多くの方に交流会に参加していただけるよう活動し、コミュニティの輪がさらに広がるよう取り組んでいきたいと思っています。



交流員と保健師の方による健康サロンの様子



交流会の様子

避難されている方々の見守り・相談について

福島県では、避難されている皆さんの悩みや不安に対応するため、戸別訪問による見守りや相談の体制を強化し、ニーズに応じたきめ細かなサポートを行っています。



生活支援相談員の活動の様子

県内生活支援相談員

応急仮設住宅や借り上げ住宅等を戸別訪問し、孤立防止のための声かけや、生活に関する様々な相談支援を行っています。その相談内容は幅広く、避難者の問題解決のため、必要に応じて福祉サービス事業者や専門機関・行政につなぐなどしています。

実施主体 福島県社会福祉協議会ほか
☎ 福島県庁 社会福祉課 ☎024-521-7322

県外復興支援員

県外駐在員(福島県職員)とともに避難者に対する戸別訪問や相談対応等を行う県復興支援員を設置し、避難者の個別具体的な課題に対応しています。

平成27年度は、昨年度の南関東圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)から、関東全域・山形県・新潟県への設置を進め、支援の充実を図っています。

主な活動内容 ● 避難者に対する戸別訪問、避難者への情報提供・相談対応 ● 避難元・避難先自治体や民間支援団体との連携・情報共有

埼玉県	復興支援員埼玉事務所	048-814-1111
千葉県	千葉県社会福祉協議会内	043-204-6010
神奈川県	神奈川県臨床心理士会内	045-716-6440 留守番電話対応
群馬県	ぐんま暮らし応援会内	027-333-1635
山形県	山形県社会福祉協議会内	023-626-1622

東京都、茨城県、新潟県については、避難者支援課から復興支援員におつなぎしますので、右記問い合わせ先までご連絡ください。

☎ 福島県庁 避難者支援課 ☎024-523-4157

ふくしまの今とつながる相談室「toiro」

電話相談 対面相談 相談窓口の紹介

ふくしまの今を伝える 人材の派遣

- 避難者を対象に、様々な相談や問い合わせに対応しています。小さなことでも構いませんので、お気軽にご相談ください。
- 県外で開催される避難者交流会等に、福島県の現状に詳しい人材を派遣し、ご相談等にお応えします。

相談ダイヤル

☎ 024-573-2731 (毎週月・水・金:10時~17時)

※祝祭日を除く

一度おかけいただきましたら、toiroからかけ直します。電話代は心配せずお気軽にお電話ください。

▶ 運営：一般社団法人 ふくしま連携復興センター

県外から相双地域等に介護職員として就職する方を募集しています

福島県の相双地域等(※)の介護保険施設等に介護職員として就職する方を募集しています。

就職が内定した方には、資格取得費用や就職準備金を貸与します(無利子・返還免除あり)。介護保険施設等が、他の市町村で事業継続している場合も貸付対象となります。

※相双地域等：相馬市・南相馬市・広野町・楡葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村・新地町・飯舘村・いわき市・田村市

貸付金額	1 資格取得費用(介護職員初任者研修等)	15万円以内
	2 就職準備金(住宅資金等)	30万円

※詳細は、福島県社会福祉協議会のWEBサイトにてご確認ください。

福島県社会福祉協議会 検索

☎ 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 人材研修課 ☎024-526-0045

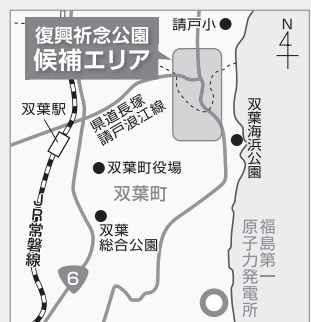
復興祈念公園の整備について

復興祈念公園は、東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の伝承、復興への強い意志の発信等を目的とし、国と県が連携して整備するものです(被災3県に1カ所ずつ整備)。

福島県では、平成26年10月にプロジェクトチームを設置し、施設の内容や整備候補地に関する検討を重ねてきましたが、このたび、「双葉町・浪江町」にまたがるエリア(中野・高竹地区)を整備候補地として選定いたしました。

選定にあたって重視した点

- 国の整備方針と適合していること
- 津波被害等が甚大であり、犠牲者が多く追悼の場として妥当性があること
- 沿岸部かつ被災が実感でき、震災の記憶と教訓を伝承する場として妥当性があること
- 近隣に他の震災遺構を有するなど、回遊・見学が可能であること
- 復興祈念公園が復興を牽引する施設として貢献度が高いこと など



東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成32年に、本県が復興した姿を全世界に発信できるよう、公園の早期整備を進めます。なお、今年度は、有識者会議を設置し、国や被災市町村と連携・調整を図りながら、公園全体の基本構想を策定する予定です。

福島県 原子力損害賠償に関する巡回相談のご案内

不動産鑑定士

県では、福島県不動産鑑定士協会と連携し、東京電力による宅地・建物に関する損害賠償手続きについて、不動産鑑定士による無料の対面相談を実施しています。

相談できる内容

・宅地・建物の賠償額の見方や算定の方法について
・宅地・建物の「現地評価」の実施について等
※不動産鑑定士が、評価額を算定したり、賠償額を示したりするものではありません。

相談対象となる方

東京電力から送付される「宅地・建物借地権賠償金ご請求書②」がお手元に届いている方

相談料

無料

相談時間

30分(13時～16時30分に実施)

ご持参いただく資料

必須 東京電力から送付される「賠償金ご請求書②」二式
写真・建築図面、工事請負書等(できるだけ)

受付方法

事前予約制となりますので、相談を希望される方は、左記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

問 原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口
☎024-523-1501(平日:8時30分～17時15分)

弁護士

県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による無料の対面法律相談を実施しています。

相談できる内容

原子力損害賠償請求手続きに関する不明な点やお困りの点などについて

相談料

無料

相談時間

30分(13時30分～15時50分に実施)



実施の日程等については左記の表をご覧ください。

巡回相談日程

※10月以降についても県内各地で実施を予定しています。

市町村	実施日	実施会場(住所)
福島市	8月24日(月)	福島県青少年会館 第6研修室 (福島市黒岩字田部屋53-5)
	9月25日(金)	
郡山市	8月28日(金)	福島県郡山合同庁舎 南分庁舎2階 第4会議室 (郡山市麓山1-1-1)
	9月28日(月)	
会津若松市	9月16日(水)	福島県会津若松合同庁舎 本館3階 会議室 (会津若松市追手町7-5)
南相馬市	8月26日(水)	福島県南相馬市労働福祉会館 会議室2 (南相馬市原町区北町537)
	9月29日(火)	福島県南相馬市労働福祉会館 会議室1 (南相馬市原町区北町537)
いわき市	8月31日(月)	福島県いわき合同庁舎 仮設庁舎1階 会議室 (いわき市平字梅本15)
	9月30日(水)	

市町村	実施日	実施会場(住所)
伊達市	9月11日(金)	福島県伊達合同庁舎 1階 会議室 (伊達市保原町大泉字大地内124)
三春町	9月 2日(水)	福島県三春合同庁舎 2階 小会議室 (田村郡三春町大字熊耳字下荒井176-5)
白河市	8月20日(木)	白河商工会議所 2階 交流室 (白河市道場小路96-5)
	9月17日(木)	
会津若松市	9月29日(火)	福島県会津若松合同庁舎 本館3階 地域連携室 (会津若松市追手町7-5)
喜多方市	8月24日(月)	喜多方プラザ文化センター 1階 小会議室 (喜多方市字押切2-1)
南会津町	9月 9日(水)	福島県南会津合同庁舎 4階 会議室 (南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1)
南相馬市	9月 3日(木)	福島県南相馬合同庁舎 北庁舎1階 県政相談室(南相馬市原町区錦町1-30)
いわき市	8月26日(水)	福島県いわき合同庁舎 南分庁舎2階 ミーティングルーム小 (いわき市平字梅本15)
	9月16日(水)	

不動産鑑定士

弁護士

原子力災害に伴う 特定地域中小企業特別資金

平成23年3月11日時点で原子力発電所事故に伴う避難指示区域等に事業所を有した中小企業者等で、県内の移転先で事業を継続・再開する方、及び避難指示が解除された地域等で事業を継続・再開する方に、必要な事業資金を長期・無利子無担保で融資します。

問 福島県産業振興センター
原発災害対策特別融資チーム
☎024-525-4019

被災中小企業施設・設備整備支援事業貸付金

東日本大震災により被害を受けた中小企業者(中小企業等グループ施設等)復旧整備補助事業の認定を受けた復興事業計画書に記載されている被災中小企業者等が、施設・設備の整備を行う場合に、必要な資金を長期・無利子で融資します。

問 福島県産業振興センター企業支援部
資金支援課 ☎024-525-4075

清らかな水のふるさと 福島

福島市の水道水ペットボトル「ふくしまの水」が「モンドセレクション2015」金賞を受賞するなど、福島県には豊富な水資源・水環境があります。福島県では、「清流の里ふくしま」の清らかな水について、地産地消の観点から積極的な活用をお願いするとともに、安全・安心のPRと本県への風評の払拭のため、県内外でイベント等を通じて情報発信しています。

福島の水は安全です

原発事故後、継続して放射線モニタリングを実施し、県内全域で放射性ヨウ素・放射性セシウムは不検出*となっており、※水道水の場合、平成23年5月5日以降はすべて不検出

広報実績・資料等については、土地・水調整課のWEBサイトをご覧ください。

福島県 土地・水調整課

源流県・ふくしま

福島県は、阿武隈川、阿賀野川、久慈川など多くの河川の源流部を擁しています。豊かな森林環境との共生により、清らかな流れが守られています。

清らかでおいしい水を提供しています

県内各地に豊富な水源があり、消費者の皆さまにご提供しています。

問 福島県庁 土地・水調整課 ☎024-521-7123

福島県立医科大学からのお知らせ

福島県「県民健康調査」報告(平成23年度～平成25年度)パンフレットの一部に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

修正箇所	甲状腺検査・先行検査の結果に関するグラフ数値のうち、二次検査の結果に関するもの。
9ページ	

下段中央円グラフ

細胞診	誤	39.4%	正	26.0%
経過観察等	誤	26.7%	正	40.1%

また、細胞診の内訳を表す棒グラフについては、下記のとおりです。

経過観察等	誤	33.9%	正	20.5%
-------	---	-------	---	-------

詳細は、福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターのWEBサイトをご覧ください。

放射線医学県民健康管理センター

住宅再建を希望する被災者等 工務店等の情報を提供します

住宅の改修や建て替えを希望する被災者及び避難者に、工務店や職人等の情報を提供します。これは、復興需要の増大による職人・建築資材等不足の解消を目的としています。

問 福島県地域型復興住宅推進協議会 ☎024-521-4033

空き家を活用した 住宅再建を支援します

被災者、避難者、県外からの移住者が、自ら居住するため空き家を購入または賃借して改修等を行う場合に補助金を交付します。

- ① リフォーム: 工事費の1/2かつ最大150万円
- ② ハウスクリーニング等: 最大40万円

問 福島県庁 建築指導課 ☎024-521-7528
または最寄りの県建設事務所建築住宅課

アクアマリンふくしま 開館15周年 わくわく里山・縄文の里がオープン

開館15周年にあわせて、7月20日に、自然との共生をテーマとした屋外展示施設「わくわく里山・縄文の里」がオープンしました。洞窟をイメージした通路からは、滝や川、湿地など、縄文時代の自然風景が見られます。豊かな自然の象徴である「ユーラシアカワソウ」の展示コーナーもあります。

※なお、この施設の設置にあたっては、東日本大震災に際してクウェート国から贈られた救援金が活用されています。

7月20日より入館料が改定されました。

一般	1,800円 (改定前1,600円)
小・中・高校生	900円 (改定前800円)

問 環境水族館アクアマリンふくしま ☎0246-73-2525

読者の声

このコーナーは、皆さまのご要望で成り立っています!

読者の皆さまからいただいた声を今後の紙面づくりに反映してまいります。避難先でお困りのことや知りたい情報、気になっていることなどをお寄せください。

この記事がよかった!

南相馬市「セデッテかしま」店長さんの頑張る様子と具体的な内容を読んで、私も頑張らねばと力が湧いてきました。(東京都 60代 女性)

記事の感想

情報紙を読んでいると、いろいろな方たちの頑張っている姿が見え、はげまされます。(神奈川県 30代 女性)

取り上げてほしい情報

避難指示区域内の道路通行時の放射線量について。一時帰宅時の参考にしたい。(県南地方 30代 女性)

WEBサイト「福島県放射能測定マップ」では、県内各地に設置されたモニタリングポストなどのデータに基づき、地点ごとの放射線量をお知らせしています。また、測定器を載せた自動車でも測定した結果もお知らせしていますので、ご覧ください。

福島県放射能測定マップ

ご意見はコチラまで ☎960-8670 福島県庁 避難者支援課「読者アンケート」係

「ふたばワールド2015 in ならは」を開催

双葉地方の皆さんに交流していただき、復興に向けた意識を高めるため、今年は檜葉町で「ふたばワールド」を開催します。

日時 10月10日(土) 10時～15時
場所 檜葉町総合グラウンド(双葉郡檜葉町大字大谷字上ノ原地内)

ステージ 伝統芸能継承団体やプロ歌手など 双葉郡の商工業者等が各地の名物料理等を披露します。

大鍋 陳建一氏が作る大鍋料理を、先着1,000名様にご提供します。

キックターゲット サッカー元日本代表の武田修宏さんが指導します。

ほかに内容が盛りだくさん! 双葉地方以外の方も、ぜひご来場ください。

問 「ふたばワールド2015」実行委員会事務局 ☎0240-27-4665